

令和4年10月20日

本市初の自治体ビジネス始動 市職員が作った「議会答弁検討システム」を 民間企業との連携により商品化

平成30年度に職員が市議会の質問、答弁、検討の一連の流れを集約するデータベース「議会答弁検討システム」を作り、「全庁情報共有」、「作業時間削減」等の業務効率化とペーパレス化を実現しています。

この度、このシステムをベースとしたWEBシステムを「株式会社エフコム」が開発し、商品として「株式会社ぎょうせい」が全国の自治体に向けて売り出すことになりました。

記

- 1 発売予定日： 令和5年4月1日
- 2 販売価格： 未定
本市システムをベースにすることで開発コストを抑え、販売価格も可能な限り廉価になるよう調整中
- 3 商品紹介： JLIS 地方自治情報化推進フェア（幕張メッセ）
令和4年11月1日（火）～2日（水）
株ぎょうせいエリア「議会答弁検討システム」ブースで紹介

（システムの概要）

従前、WordやExcelを使い、「紙」や「データ」を送付して行っていた市議会の質問集約、答弁作成、内容検討を一元的にデータベース化したもの。

（1）全庁情報共有・作業時間の削減

- ①「集約」、「印刷」、「丁合」、「差し替え」といった取りまとめ業務が一切不要。
- ②各課職員が紙の受け渡しに足を運んだり、メッセージなどでデータを受け渡す作業が不要。
- ③市長との答弁検討会の準備時間、開催時間が半減。

（2）ペーパレス化

- ①年間約1万枚を超えるペーパレス化

担当： デジタル改革室 デジタル推進課
室長 信太、課長 目黒
電話 024-572-3943（直通）

本市初の自治体ビジネス始動

市議会の質問集約、答弁作成、内容検討を一元的にデータベース化した「議会答弁検討システム」を職員が作り「全庁情報共有」、「作業時間削減」等の業務効率化とペーパーレス化を実現しています。この度、このシステムをベースとしたWEBシステムを「株式会社エフコム」が開発し、商品として「株式会社ぎょうせい」が全国の自治体に向けて売り出すことになりました。

- 1 発売予定日 令和5年 4月 1日
- 2 販売価格 未定
本市システムをベースにすることで開発コストを抑えて廉価になるよう調整中
- 3 商品紹介 JLIS 地方自治情報化推進フェア（幕張メッセ）
令和4年11月1日（火）～2日（水）
（株）ぎょうせいエリア「議会答弁検討システム」ブースで紹介

「議会答弁検討システム」概要

概要

WordやExcelを使い、「紙」や「データ」を送付して行っていた議会質問・答弁作成の一連の作業(市議会の質問取り、答弁作成、内容検討)をデータベースシステムで一元的に集約し、部局を超えて連携処理。

システムにデータを集約することで「全庁情報共有」、「作業時間削減」等の業務効率化とペーパーレス化を実現した。

効果

(1)事務負担と業務時間の削減

- ①「集約」、「印刷」、「丁合」、「差し替え」といった答弁取りまとめ課のバックヤード業務が一切無くなった。
- ②各課職員が紙の受け渡しに答弁取りまとめ課に足を運んだり、データを受け渡す作業がなくなった。
- ③市長との答弁検討会1回開催あたり10時間から5時間に50%時間が削減された。

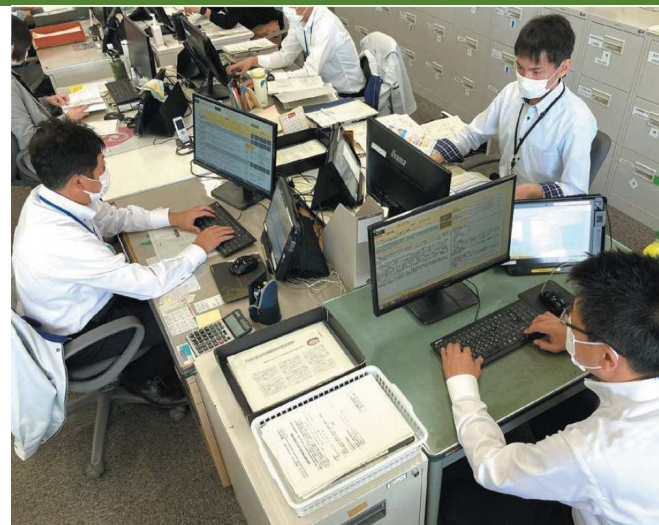
(2)ペーパーレス化

- ①年間1万枚を超えるペーパーレス可

工夫点

庁内業務サーバーに全職員がアクセスできる領域を設置。

その領域にデータを置いてリアルタイムに共有することで、「紙を運ぶ」、「データを送る」といった情報の受け渡しを無くした。



システムに答弁を入力する職員

答弁を入力する画面

「議会答弁検討システム」画面イメージ（開発中）

本日、一般質問1日目です。（開会予定時刻：10時／開催場所：9階908会議室）



日付	曜日	イベント	備考
5/26	木		
5/27	金	期限：所管部仕分（総務）	
5/28	土		
5/29	日		
5/30	月	期限：質問取り	
5/31	火	期限：質問入力	
6/1	水		
6/2	木	期限：答弁登録	
6/3	金	市長検討会	
6/4	土		
6/5	日		
6/6	月	開会	
6/7	火		
6/8	水		
6/9	木		
6/10	金		

本市初の自治体ビジネス始動

J-LISは日本の
トラストサービスを
変えます!!

「いつでも、どこでも」から「誰でも」の世界へ

地方自治情報化
推進フェア2022

参加無料
事前登録制

11月1日(火) 10:00-17:30
11月2日(水) 10:00-17:00

開催メッセ 幕張メッセ 幕張ホールA棟

11/1(火) 10:15-11:15 講演①

デジタル田園都市国家構想を推進するAIの最新動向

総務省では2018年からAIネットワーク社会推進会議を開催し、AIの社会実装の推進を行っており、自治体DX、デジタル田園都市国家構想を推進する自治体において、AIは欠かせないものとなっています。

AIネットワーク社会推進会議や日本のAI分野を牽引してきた立場から、最新の動向や、AI、デジタルツイン、メタバースの構築等についてご講演いただきます。

演者 佐々木 浩二
中央大学 経済学部長 兼 中野大学 経済学センター 長
東京大学 特任教授 / 東京大学 名誉教授

11/1(火) 11:30-12:30 講演②

ITガバナンスとマネージメント

「日経xTECHの人資コラム」(経営者向け)の筆者が語る「2022年6月7日に閣議決定された「デジタル社会の実現に向けた重点計画」で、国の町に与った推進の方向性が示される中、自治体DX、デジタル田園都市国家構想を推進する自治体においても、ITガバナンスとマネージメントは欠かせません。これまで広く分野を取組してきた自治体から、民間自治体の失敗事例から学ぶべきことについてご講演いただきます。

演者 木村 岳史氏
日経xTECH(日経xTECH) / 日経コンピュター 編集委員

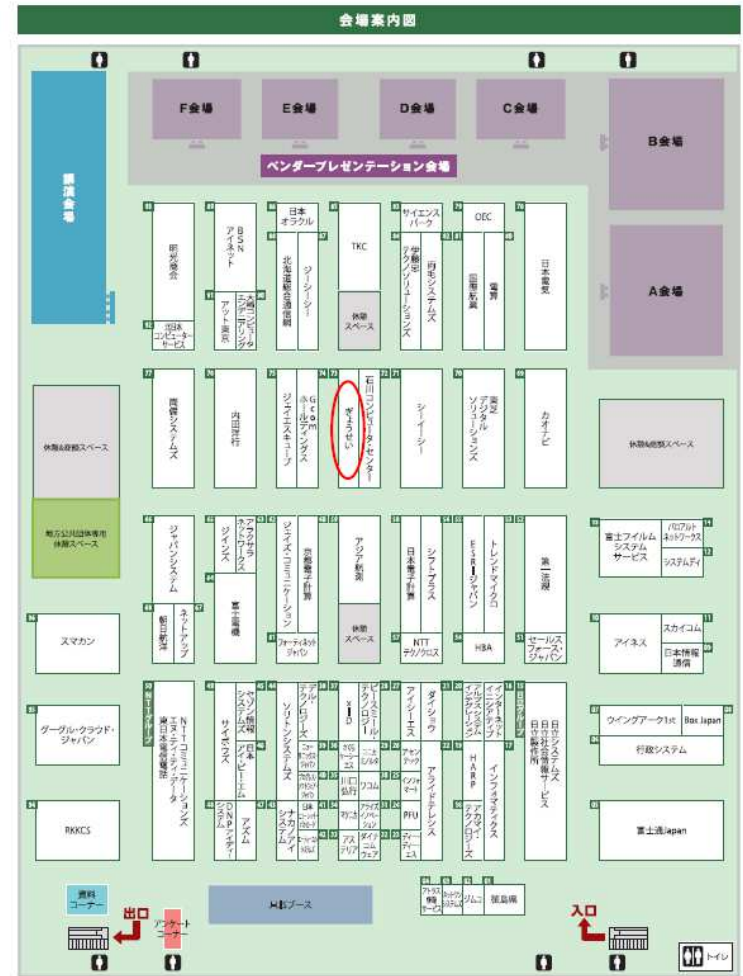
11/1(火) 14:00-15:30 パネルディスカッション

デジタル田園都市国家構想に向けた地方デジタル化戦略

地方を活性化する手段としてデジタルをどのように活用できるのか、県民の公的個人認証サービスなど日本のトラストサービスの状況や、地方自治体として、民間企業としてどのような戦略を講じる必要があるのかについてディスカッションしていただきます。

井原 誠 氏 千葉県自治体連盟 会長
手塚 悟 氏 慶應義塾大学 経済学部長 教授

【モデレーター】
関口 和一 氏 株式会社総務研 代表取締役 兼 元 日本経済新聞社 編集委員
加藤 百合子 氏 株式会社エムスエフ エグゼクティブ 代表取締役
西村 出 氏 株式会社アール・エフ・エルディン 執行役員システム部長
吉本 和彦 氏 株式会社近畿建設 代表取締役 兼 システム部長 (AI) 部長



講演、パネルディスカッション、トピックスセミナー、J-LISセミナー、バンダープレゼンテーションへの参加には事前予約が必要です。詳しくはWebサイトをご確認ください。

推進フェア公式Webサイト <https://fair.j-lis.go.jp/>

本市初の自治体ビジネス始動

JLIS 地方自治情報化推進フェア（幕張メッセ）令和4年11月1日（火）～2日（水）
（株）ぎょうせいエリア「議会答弁検討システム」ブース

